

(別紙様式)

都道府県番号	26
都道府県名	京都府

()
該当する観点にチェックをすること

・ 学校名及び規模

京都市立上鳥羽小学校(フロンティアスクール名)									
学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
児童数	2	2	2	2	2	2	1	13	18
	63	58	71	62	73	68	1	396	

・ 実践研究の概要(主題(テーマ)及び設定の趣旨)

<p>・ 主題(テーマ) 自分の思いや考えを豊かに表現できる子 ー評価を生かした指導法の工夫ー</p> <p>・ テーマ設定の趣旨 教材との出会いの工夫,複数の指導者による学習展開(協力指導), 自己評価・相互評価を取り入れた評価活動等を行うことにより, 豊かに表現する力を育てる。</p>

・ 実践研究の内容について

() 研究体制の工夫

・ 研究部(メンバー 研究主任,研究部員各学年1名)



() 実践研究の内容

国語科における全学年の年間単元別評価規準表

研究主題を「自分の思いや考えを豊かに表現できる子～評価を生かした指導法の工夫～」とし,子どものよさを生かす授業改善に向け,指導すべき目標や内容を明確にするだけでなく,指導者が一人一人の児童の学習過程や学習の状況を正確につかみ,適切に評価することを目指した。

国語科の「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の5つの学習観点を踏まえ,児童に育てたい

言語の能力を単元別に取り上げた年間単元別評価規準表（マトリックス）を作成した。また，1時間ごとの評価規準を明らかにし，「おおむね満足できる」子どもの姿（B規準），「十分満足できる」子どもの姿（A規準），さらにB規準に至らない子どもへの具体的な支援を明らかにして毎時の指導にあたっている。

< 年間単元別評価規準表の一例 >

第6学年2学期の規準表の一部

観点 単元	国語に対する関心をもち，計画的に話し合ったり，適切に書いたり，幅広く読書しようとしたりする。（国語への関心・意欲・態度）	目的や意図に応じ，考えた事や伝えたい事などを的確に話したり，相手の意図を考えながら聞いたりする。（話す・聞く能力）	目的や意図に応じ，考えた事などを筋道を立てて書く。（書く能力）	目的に応じ，内容や要旨を把握しながら読む。（読む能力）	音声，文字，語句，文や文章，言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。（言語についての知識・理解・技能）
二つの意見から	課題に対して調べ，計画的に話し合いに参加したり効果的に書き表したりしようとしている。	組み立てを工夫しながら話し，話し手の意図を考えながら聞いている。	文章全体の組み立ての効果を考えて意見文を書いている。	自分の考えを広げたり深めたりするために事象（例）と意見との関係を押さえて読んでいる。	文章を書く際に目的や意図に応じた構成を活用している。
海の命	作品を読み味わうとともに命について考えを深めようとしている。		命についての自分の考えを，経験や本で読んだことなどを事例として入れながら組み立てを考えて文章にまとめている。	文章の叙述に則して，登場人物の生き方や考え方を読み取っている。	優れた表現や叙述に着目し，語感や言葉の使い方について感心を深めている。
日本で使う文字	文字についての関心を高めようとする。				仮名の由来や特質，漢字と仮名の表すものの違いを理解している。